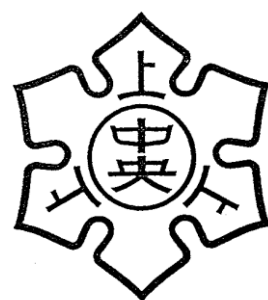


平成27年度

# 上砂川町立中央小学校



校章

平成3年 制定

子どもの群れに幸がある

【上砂川町立中央小学校 校歌】

作詞 風巻景次郎

作曲 筒井 秀武

一、明るい朝の歌がある

子どものむれに幸がある

心ゆたかに育つよう

みんなで力つけあおう

つどえよんこに朝ごことい

上砂川の子どもらよう

二、明るい町の歌がある

子どものむれに幸がある

正しいとのできるよう

勇気をみなでつけあおう

緑の丘にかこまれて

ひびきはあがるやまの町

三、明るい夢の歌がある

子どものむれに幸がある

かしこい人に育つよう

みんなで知恵をつけあおう

◎所在地 北海道空知郡上砂川町東鶉南1条4丁目1-1

◎TEL 0125-62-2050

◎FAX 0125-62-2314

## 中央小学校の概要

本町の東部には夕張山系が東西に走り、西方の砂川方面に傾斜して石狩平野へと続いている。この山間に流れるパンケウタシナイ川の大きな沢に町が形成されている。産炭地として隆盛を誇っていたが、昭和62年7月14日、石炭の合理化政策のために三井鉱業所が閉山となり、町及び町民を挙げての長期町づくり計画のもとで「教育と福祉の町」へと再生の道を歩んでいるのが実情である。

本校は、平成3年に若生小と下鶴小の統合により新設され、平成6年に上砂川小と統合して小学校は町内一校体制となっている。保護者の職業は、かつて鉱業所の関係と商店が中心であったが、現在は、公務員、自営業、企業誘致に伴う会社員等、僅かの商店等変化をしている。閉山になって30年近く経過しているが、近年の社会経済の落ち込みの影響もあり、保護者の経済的な格差が見受けられ、補助を受ける家庭や離婚等による一人親家庭が増加している。そのためか、子どもの成育環境や教育環境に不十分な面が多く見受けられ、基本的な生活習慣を身につけさせるための指導を家庭と連携して行うことが急務である。

しかしながら、子どもたちは、概ね素直で明るく活発な傾向にあり、学校行事では、高学年がリーダーシップを発揮し、全校で協力しながら成功させている。

## 中央小学校の沿革

明治 35 年	空知郡奈井江村鶴農場簡易教育所開校	平成 3 年	上砂川町立中央小学校開校
明治 42 年	砂川尋常小学校に併合、砂川尋常高等小学校鶴分教場と改称	平成 4 年	中央小学校落成記念式を挙行
大正 6 年	砂川尋常高等小学校より分立し、鶴尋常小学校開校	平成 5 年	第 1 回中央小学校卒業式
	鶴尋常小学校特別教授所分立（上砂川小学校の前身）	平成 6 年	校名を変えず、上砂川小学校と中央小学校の統合が決定
大正 15 年	校舎新築移転（鶴神社横から現在地）鶴尋常小学校を上砂川鶴尋常小学校と改称	平成 13 年	中央小学校と上砂川小学校が統合、統合式を挙行
昭和 10 年	高等科を併置し、上砂川鶴尋常高等小学校と改称	平成 15 年	コンピュータ設置（20台）
昭和 13 年	砂川町・歌志内町組合立上砂川第二国民学校と改称	平成 16 年	10周年記念式典・祝賀会を挙行
昭和 16 年	上砂川第二小学校と改称	平成 22 年	法務局より「人権の花」寄贈
昭和 22 年	上砂川町立上砂川第二小学校と改称	平成 23 年	学芸発表会を学習発表会と改称
昭和 24 年	下鶴分校開設	平成 24 年	普通学級1減により、普通学級6、障害児学級2となる。
昭和 26 年	上砂川町立若生小学校と改称	平成 25 年	韓国児童受け入れ（4名、LC日韓児童交流事業）
昭和 32 年	児童数最多（36学級 1926名）	平成 26 年	児童用・公務用パソコン設置
昭和 34 年	若生小学校と下鶴小学校の統合が決定	平成 27 年	体育館耐震工事完了
平成元年	若生小学校開校89周年記念式典・祝賀会を挙行		開校20周年式典・祝賀会挙行
平成 3 年			福井市鶴との交流事業開始
			フッ化物洗口開始
			プロジェクター、OHC、スクリーン全教室設置、児童用トイレ洋式化
			全校児童漢検実施

# 中央小学校の教育

## 学校教育目標

○思いやりのある子（情）	～	【 校訓 】 優しく
○正しいことをやりぬく子（意）	～	正しく
○自ら進んで学ぶ子（知）	～	賢く
○健康でたくましい子（体）	～	強く

## 学校像

学校とは、人との関わり合いの中で、子どもを自立させる場、心を成長させる場として、「生きる力」を身につけさせる責任があり、子どもたちの発達をたすける営みに全力を傾注する場である。

### 【 子どもにとって 】 → 「 明るく元気で楽しい学校に 」

- ① 学ぶ喜びが感じられる学校
- ② 安全・安心して楽しい学校
- ③ 「生きる力」が育まれる学校
- ④ 子ども一人一人が輝く学校

### 【 家庭・地域社会にとって 】 → 「 学ばせたくなる学校に 」

- ① 地域の教育環境や人的資源を活用する学校
- ② 家庭や地域の負託に応える、信頼される学校
- ③ 双方向に開かれ、「地域の風」が行き交う学校
- ④ 家庭や地域と成果や課題を共有する学校

### 【 教職員にとって 】 → 「 誇りを持って働くことができる学校に 」

- ① 組織的な研修で指導力が高まる学校
- ② 業務の分担で経営的資質を養い、解決への協働で参画意識の向上を図る学校
- ③ それぞれの持ち味が発揮できる活気に満ちた学校

## 児童像

児童は、上砂川の自然や地域文化を誇りとし、未来に挑戦する心を持ち、自分の良さや可能性を周囲との関わり合いの中で触発し、自らの生き方を追求する常に燃え続ける存在である。

## 教師像

教師は、公教育の推進者としての自覚を持ち、感動のある授業で、人としての基礎基本を着実に指導するため、相互に研鑽し合い、子ども・地域・保護者のため、さらには、己のために輝きを放ち、信頼の架け橋となる存在である。

## 学校経営の方針

学校経営では、子どもや地域の実態を捉え、課題を明らかにし、その解決に力を注がなければならない。開校以来30年余りを経た本校の歴史、教職員の持ち味や家庭や地域の期待、意向、要望などを的確に押さえ、次の点を学校経営の柱とし、相互信頼に基づいた人間関係を確立し、全教職員の英知と創造性を結集し、協働体制で学校経営にあたる。

- (1) 学校教育目標の具現化に焦点をあてた経営に努める。  
地域に開かれ、信頼される教育活動を推進する。 【運 営】
- (2) 子どもの「生きる力」の育成を目指し、全教職員の共通理解と協働の下、地域の特性を生かした教育課程の編成と実践に努める。  
教育課程の検証・改善を推進する。 【教育課程】
- (3) 専門職としての力量を高めるために校内外に開かれた研修に努める。また、研修講座、各種研究会に積極的に参加し、その成果を教育実践に反映させる。 【研 修】
- (4) 愛情と信頼を基盤とした人間的触れ合いを通して、子ども一人一人の個性や能力の伸長を図り、基礎・基本の定着・習得とこれらの活用・探求などきめ細やかな指導に努める。 【指 導】
- (5) 教育活動を推進するために、地域の教育環境、人的資源を活用し、教育効果を高める。 【環 境】
- (6) 学校に対する家庭・地域の理解を深め、連携・補完しながら子どもを育てるために、学校からの情報提供と地域の教育力の活用を図る。  
(ホームページの活用・地域参観日の開催)

## 学校経営の重点

目指す学校像、子ども像、教師像の具現化を通して、確かな学力を身につけ、心豊かでたくましい人間の育成に努めるよう、以下のように平成25年度の学校経営の重点を策定する。

- (1) 学習指導（確かな学力）
  - 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために、必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育成する。
  - ①基礎的・基本的な学習内容の確実な定着・習得と合わせ、その活用や発展的な探求活動をすすめるとともに、個に応じた指導方法の改善に努める。
  - ②子どもたち一人一人が、充実感や満足感、達成感を味わえるよう、体験的な学習や問題解決的な学習の実践に努める。
  - ③学習の基礎である言語に関する能力について、国語科のみならず、各教科においてその育成を重視する。
  - ④教育活動全体を通してコミュニケーション能力の育成を図る。
  - ⑤家庭との連携を密にし、学習習慣の定着を図る。～家庭学習の手引きの活用～
  - ◎全国学力・学習状況調査、標準学力検査、チャレンジテストなどの活用
- (2) 道徳教育（心の教育）
  - 豊かな心と自他を大切にすることを育む。

- ①教育活動全体を通して道德教育を推進するため、年間指導計画の充実を図る。
- ②豊かな感性や社会性、郷土を愛する心を育むため、地域に根ざした様々な体験活動の充実と、心の教育を重点とした道德指導の充実を図る。
- ③発達段階に応じて、情報社会におけるルールやマナーの定着を図る。
- ④道徳的価値の自覚を深める要として、参観日などにおける授業公開を通して、指導の工夫改善を図る。
- ⑤家庭や地域との連携を密にし、望ましい人間関係や行動様式の確立を目指す道徳的実践力の定着を図る。
- ⑥道德教育推進教師の活用

### (3) 外国語活動

- 外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみさせながら、積極的にコミュニケーションする能力の素地を養う。
- ①外国語の音声や基本的な表現に親しむことができるよう、指導の工夫や充実を図る。
- ②外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。
- ③日本と外国の言語や文化について、体験的に理解が深まるよう活動の工夫や充実に努める。

### (4) 総合的な学習の時間

- 教科の枠を超えた横断的・総合的な学習、探求的な学習となるよう内容の充実を図る。
- ①自然体験やボランティア活動などの社会体験活動、観察・実験、見学・調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れる。
- ②総合的な学習の全体計画の内容の充実

### (5) 特別活動

- 望ましい人間関係を築き、自主的、実践的態度を育てる。
- ①全校や学級単位での活動を通して、集団への所属感を深め、望ましい人間関係の育成に努める。
- ②問題意識を持ち、主体的に解決するための話し合いや協力的活動を重視した指導の充実を図る。
- ③自治的、主体的活動を促す効果的な指導や援助を工夫する。
- ④発達段階に応じた勤労観・職業観を育てるキャリア教育の推進

### (6) 生徒指導

- 一人一人の心をゆさぶり、よさを伸ばす積極的な生徒指導を推進する。
- ①子どもの心に寄り添い、よさを伸ばすとともに、心のふれあいを大切にされた共感的な理解に基づく積極的な生徒指導の充実を図る。
- ②「いじめはどこにでも存在する」という考えを持ち、その上で、いじめや不登校、問題行動の早期発見に努め、全教職員の共通理解・共通行動に基づく同一歩調による指導に努める。(日常的な指導と組織的な対応)
- ③家庭との連携を図り、基本的生活習慣の定着と自立心を培う日常的な指導の充実を図る。  
(あいさつ・言葉づかい・望ましい生活のリズム、社会性の育成)
- ④家庭・地域、関係機関・団体、保育所、中学校との密接な連携を図り、情報交流を密にし、子どもたちの健全育成に努める。
- ⑤機能としての「生徒指導」の充実を図り、「なりたい自分」になろうとする自己実現の伸長を図る。  
(自己指導力の視点～自己存在・共感的な人間関係・自己決定)

#### (7) 健康・安全指導

■ 自他の生命を尊重する態度やたくましく生きるための心身を育てる健康・安全教育を推進する。

- ①生命の大切さを自覚させ、学校内外の事故の根絶を図る安全指導・安全管理の充実を図る。
- ②日常生活における継続的な体育・健康活動の指導の焦点化
- ③体力向上を旨とした活動の充実を図る。(客観性に基づく実態把握と指導の一体化)
  - ・体力、運動能力テストの活用
  - ・休み時間等の(外)遊びを奨励し、体力向上に努める。
- ④危機管理マニュアルをもとに、実践への習慣化を図り、家庭・地域・関係機関との連携を密にする。

#### (8) 特別支援教育

■ 特別支援教育への理解を深めるとともに、一人一人の子どものニーズに応じた教育活動を推進する。

- ①子ども一人一人の障がいや困り感に対して、教職員間の連携を図り、その指導方法の工夫・改善に努める。(児童実態交流・学級経営交流会の活用)
- ②特別支援コーディネーターの活用

#### (9) 家庭・地域・双葉保育所・上砂川中学校との連携

■ 家庭・地域・双葉保育所・上砂川中学校との連携を深め、相互の信頼関係に基づく役割分担による教育環境づくりを推進する。

- ①参観日、家庭訪問、学校・学級通信などの充実を通して児童理解と指導の共有化を図る。
- ②地域素材・地域人材の積極的活用(総合的な学習)
- ③PTA行事、町内会行事との連携
- ④保護者アンケートの実施
- ⑤学校支援ボランティアの活用～水泳・スキー・クラブ活動など
- ⑥双葉保育所・上砂川中学校との連携～授業交流・情報交換

#### (10) 教師の専門性を高める研修の充実

■ 教師の専門性を高める場として研修の充実を図り、指導力の向上を図る。

- ①課題に迫る研修活動、授業研究、教材開発、教材教具の工夫・活用で指導力の向上を図る。  
(IT機器の積極的な活用)
- ②研修課題に沿った個人研究、他校参観の実施で研修の活性化を図る。
- ③長期休業中の各種研修会への積極的参加とその成果の環流
- ④前年度までの成果を生かし、より充実した「開かれた研修」に取り組むと共に外部講師の活用を図る。
- ⑤授業研究の実施による研修の活性化と実践交流による指導力の向上



## 中央小学校の週課表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備 考
月	5	5	5	5	5	5	職員会議・研修
火	5	6	6	6	6	6	
水	5	5	6	6	6	6	クラブ・児童会
木	5	5	5	5	5	5	
金	5	5	5	6	6	6	
合計	25	26	27	28	28	28	

## 中央小学校の日課表

	A日課 (清掃有り)	B日課 (清掃なし)	
児 童 登 校	8:10 ~ (職員打ち合わせ)	給食終了までは 通常日課と同じ	
中 央 小 タイム	8:15 ~ 8:25		
朝 の 会	8:25 ~ 8:30		
1 校 時	8:30 ~ 9:15		
休 み 時 間	9:15 ~ 9:20		
2 校 時	9:20 ~ 10:05		
2 の 休 み	10:05 ~ 10:25		
3 校 時	10:25 ~ 11:10		
休 み 時 間	11:10 ~ 11:15		
4 校 時	11:15 ~ 12:00		
給 食	12:00 ~ 12:45		
清 掃	12:45 ~ 13:00		
昼 休 み	13:00 ~ 13:15		12:45 ~ 13:00
5 校 時	13:15 ~ 14:00		13:00 ~ 13:45
帰 り の 会	14:10 ~ 14:25	13:45 ~ 13:55	
休 み 時 間	14:00 ~ 14:05	13:45 ~ 13:50	
6 校 時	14:05 ~ 14:50	13:50 ~ 14:35	
帰 り の 会	14:50 ~ 15:00	14:35 ~ 14:45	
児 童 下 校	~ 15:30	~ 15:30	

※ 中央小タイムは、朝自習（基礎基本の定着）朝読書の時間として実施している。

## 教 職 員 構 成

担 当	職員の氏名	校務分掌
校 長	北野 和幸	
教 頭	米本 智	
1年1組担任	松山 清美	研 修 1
2年1組担任	片桐 希	研 修 2
3年1組担任	場崎 由美	体 育
4年1組担任	岩田 考	生活指導
5年1組担任	戸井 一貴	教 務
6年1組担任	平川 隆二	児 童 会
ポプラ(知的)担任	桑原 宏子	放 送
3~6年理科5.6年家庭	高橋 宏之	学 習
1~3年算数T.T(期限)	疋田 大地	図 書
特別支援教育 支援員	中野 千裕	
養護教諭	西田 知子	保健衛生
事務職員	森 瑞恵	備品・学籍・庶務
栄養教諭	小笠原友理	給食献立・支出
教諭(育休)	尾崎 真紀	
事務補	高木 洋子	経理事務・図書
公務補(臨時)	長谷部 進	管理保全
公務補(臨時)	佐藤 義之	管理保全
調理職員	藤原 明美	給食調理
調理職員(臨時)	鎌田 恵	給食調理
調理職員(臨時)	中村 美香	給食調理
日直警備員(臨時)	下田 勝弘	日直警備
日直警備員(臨時)	大橋 隆一	日直警備

## 主 な 行 事 予 定

4月7日	着任式・第1学期始業式・入学式
4月10日	学力テスト
4月11日	参観日 P T A 総会
4月15日	家庭訪問開始(～22日)
4月12日	全国学力・学習状況調査
4月27日	前期児童総会
5月1日	1年生を迎える会
5月8日	春の遠足
5月27日	運動会総練習
5月30日	なかよし大運動会
6月4日	避難訓練
6月17日	修学旅行(～18日)
6月23日	1年生見学旅行
6月25日	開校記念日
6月30日	3年生見学旅行
7月2日	4年生見学旅行
7月3日	2年生見学旅行
7月7日	参観・懇談会(低)
7月8日	5年生宿泊学習(～9日)
7月16日	参観・懇談会(高)
7月24日	第1学期終業式
8月19日	第2学期始業式
9月10日	避難訓練
9月30日	学習発表会児童公開日
10月4日	学習発表会地域公開日
10月22日	町民参観日
10月22日	後期児童総会
10月28日	はるにれ荘訪問
11月27日	中央小フェスティバル
11月30日	参観・懇談会(高)
12月1日	参観・懇談会(低)
12月25日	2学期終業式
1月20日	3学期始業式
1月26日	卒業生を描く会
2月3日	新1年生一日入学
2月26日	参観・懇談会(6年)
2月29日	参観・懇談会(4・5年)
3月1日	参観・懇談会(低)
3月4日	6年生を送る会
3月19日	卒業証書授与式
3月25日	修了式 離任式

平成27年5月1日現在

## 学 級 編 制

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	知的	合 計
男子	9	8	6	6(1)	12	11	1	53
女子	10	12	4	15	10	10		61
合計	19	20	10	21(1)	22	21	1	114



# 中央小学校の研究

## 学校教育目

思いやりのある子  
(情) ～優しく～

正しいことをやり抜く子(意)～正しく～

自ら進んで学ぶ子  
(知) ～賢く～

健康でたくましい  
子(体) ～強く～

## 研究主題

『基礎・基本の定着を図り、意欲的に学習する子の育成』（1年次）  
～算数がわかる・できる・おもしろい～

## めざす子ども像

1. 学び方がわかり、基礎基本を身につけた学ぶ子ども
2. 学ぶ喜びを感じ、意欲的に学ぶ子ども

## 研究の仮説

- 【 仮説1 】 一人一人に「学び方」を身につけさせることにより、基礎基本の定着を図ることができる。
- 【 仮説2 】 指導のねらいを明確にし、関心を高める問題や効果的な算数的活動を工夫し、「わかった」「できた」喜びを体験させることによって、意欲的に学ぶ子どもを育成することができる。

## 研究の内容

研究の視点1

基礎基本を身につけさせるための指導の工夫

研究の視点2

意欲的な子どもを育成する指導の工夫

研究の視点3

児童の実態把握と実践交流

# 中央小学校教育活動の特色

## 巡回指導教員、児童生徒支援加配教員によるT・T指導を生かした算数科授業の充実

一人一人の児童に基礎・基本の力を身に付けさせるため、算数科においてT・Tを取り入れた学習活動を行っています。特に学習に困っている子へのサポート体制の充実を目指しています。

学習の進め方は、主に学級の担任が授業進行(メイン)を担い、T・T担当者が、学習に時間を要する子を中心に指導を加えていく(サブ)形式をとっています。また、必要に応じて習熟度別グループ編成(2グループ)を行い、子どもの実態に合わせた指導を行っています。理解が遅い子の学力向上策としてT・T指導を主な施策としています。



## 地域と連携した教育

主に、総合的な学習やクラブの時間などを通して、地域素材・地域人材の積極的な活用をした学習を進めています。また、地域の方々とふれあい交流する活動も進めています。

社会教育とも連携し以下のような内容のものにとりくんでいます。

- はるにれ荘訪問
- 陶芸教室
- 親子お料理教室
- お菓子作り教室
- ジャレット先生

のグッドイングリッシュ

- 中央小フェスティバル
- 放課後子ども教室(学習・スポーツ)
- 学校支援本部事業との連携



## ALTと協力した英語教育

新学習指導要領により、5・6年生には、年間35時間の外国語活動を行っています。本校では、1～4年生に対しても、年間6時間程度の外国語活動を実施しています。

現在のALTの方は、ジャレットさんです。毎週火曜日に学校にきていただき、5・6年生の授業のお手伝いをして頂いています。授業以外にも様々な場面で子どもたちに関わってもらっています。「コミュニケーション能力の向上」「自己の確立」を目指し、「生きる力」を育む小学校外国語活動を推進して行きたいと考えています。



## ICT機器を活用した教科指導の充実

児童の学力の向上を目指して、全教室に実物投影機、プロジェクター、マグネット式スクリーン等を導入しました。先に導入している電子黒板による授業展開と今年度導入したICT機器を活用した授業で、児童の基礎学力のより一層の定着を図ります。今後も、子どもを中心に据えた教育の充実に取り組みます。



# 中央小学校の生徒指導

## 基本的生活習慣の徹底のために

「校内外生活のきまり」「保健指導目標」「給食目標」の設定。

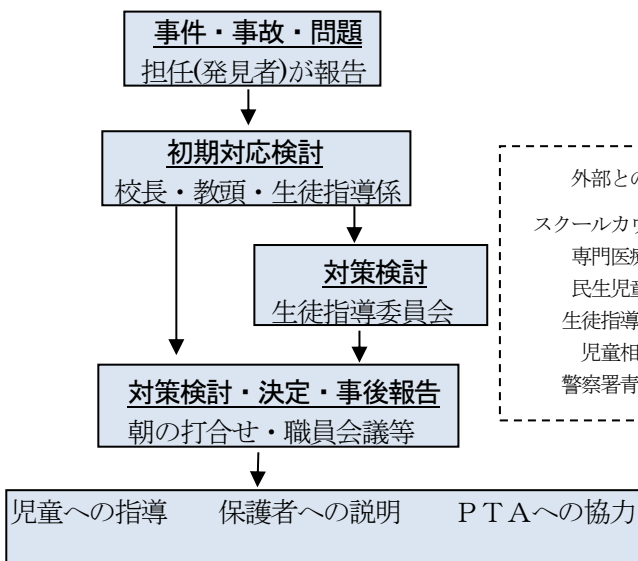
いろいろな面から、基本的生活習慣をしっかり子どもたちに身につけていくため、各学級で内容を具現化し、指導計画に基づきながら実践を進めています。

校内生活重点指導	校内生活の基本の定着
	時刻を守る
	忘れ物をしない
	元気にあいさつ

※毎週金曜日、職員朝会で、子ども達の生活の様子について交流し、全体で確認し、全職員で共通認識の下、積極的な生徒指導をしている。

中央小学校 保健指導目標	
4月	健康診断を受けよう。
5月	きれいな体にしよう。
6月	歯を大切にしよう。
7月	夏を元気に過ごそう。
8月	夏を元気に過ごそう。
9月	運動と休養について考えよう。
10月	目を大切にしよう。
11月	かぜを予防しよう。
12月	冬を元気に過ごそう。
1月	冬を元気に過ごそう。
2月	栄養と健康について考えよう。
3月	健康生活を反省しよう。

## 中央小学校の危機管理体制



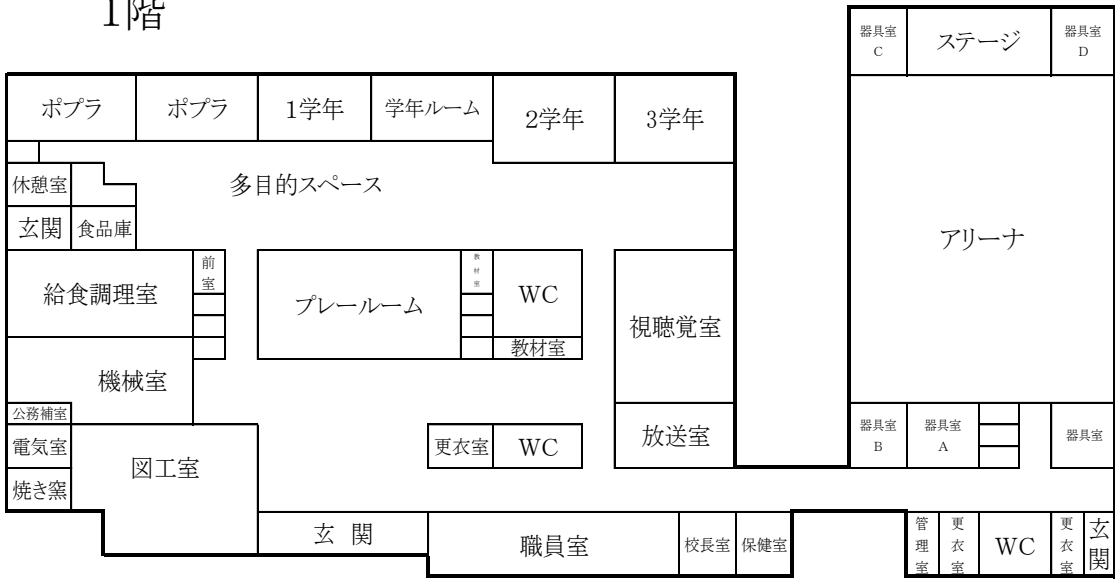
外部との連携  
 スクールカウンセラー  
 専門医療機関  
 民生児童委員  
 生徒指導協議会  
 児童相談所  
 警察署青少年課

### 安全対策として

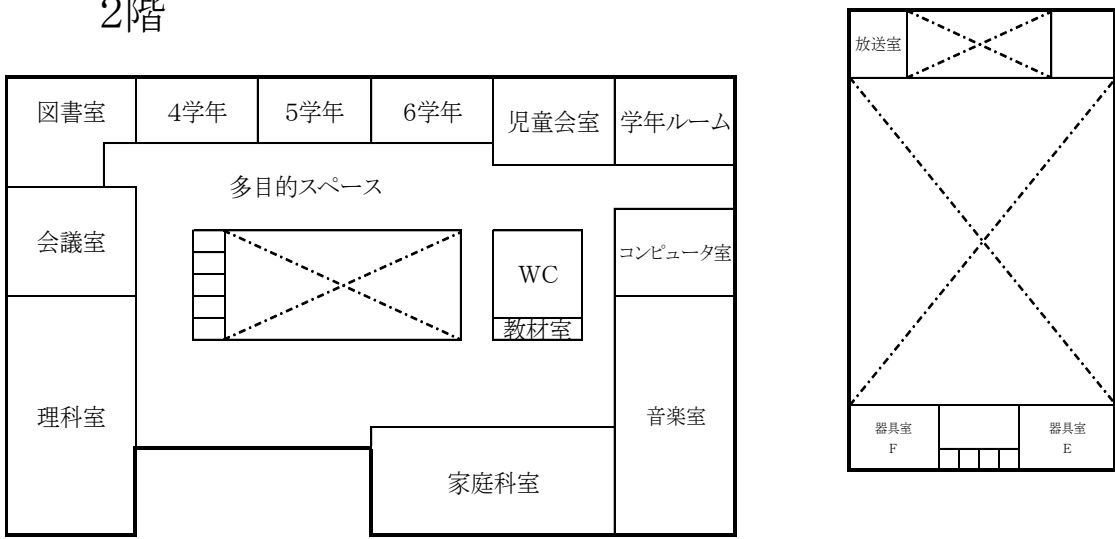
- ①各種きまりの設定
- ②安全点検日の設定
- ③安全指導
  - 交通安全指導
  - 防災訓練  
(避難訓練、集団下校訓練)
  - 校内安全のきまり
  - 不審者侵入訓練 等
- ④インターホンの設置・活用
- ⑤町生徒指導連絡協議会との連携
- ⑥交通安全協会との連携等

# 中央小学校校舎平面図

## 1階



## 2階



平成27年度